

「新型コロナウイルス禍が女性に及ぼす影響について」緊急アンケート結果

I 調査の概要

1. 調査目的

新型コロナウイルスの感染拡大により、4月7日に大阪府に緊急事態宣言が発出された。

不要不急の外出自粛要請と併せて、学校の休校や在宅勤務、店舗や施設の休業等、生活に大きな影響を及ぼすこととなり、生活不安やストレスの増加、またそれらに起因するDVの増加などが問題となった。

5月21日の解除後、新しい生活様式の実践等による感染拡大防止に向けた取組のもと、社会経済活動は再開されたが、いったん収まった感染者数も最近増加傾向にあり、様々な影響が今も続いている状況である。

そこで、新型コロナウイルス禍が女性に及ぼす影響について実態を把握するため、アンケートを実施した。

2. 調査期間

令和2年7月20日（月）～8月4日（火）

3. 調査方法

WEB 調査（大阪府インターネット申請・申込みシステムを利用）及び大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）館内に設置するアンケート用紙による調査

4. 調査の周知方法

- ・ドーンセンター**SNS**・ホームページ、大阪府公式 **Twitter**(もずやん@大阪府広報担当副知事)等
- ・大阪府関係機関発行メールマガジン等（まいど子どもカード、労働関係情報メール配信、大阪府商工関連ニュース等）
- ・市町村、市町村男女共同参画センターへの周知依頼
- ・大阪府男女いきいき・元気宣言登録事業者、**OSAKA** 女性活躍推進会議構成団体、大阪府男女共同参画推進ネットワーク構成団体への周知依頼

5. 調査の対象

大阪府に在住・在勤・在学の方

6. 回答者

1,099人（**WEB** 回答1,080人、アンケート用紙回答19人）

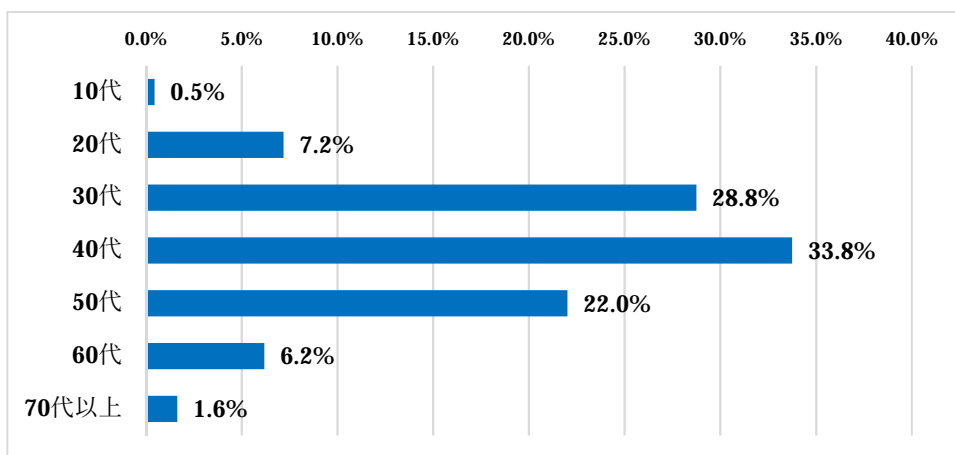
7. 実施主体

大阪府府民文化部男女参画・府民協働課

II 回答者の属性

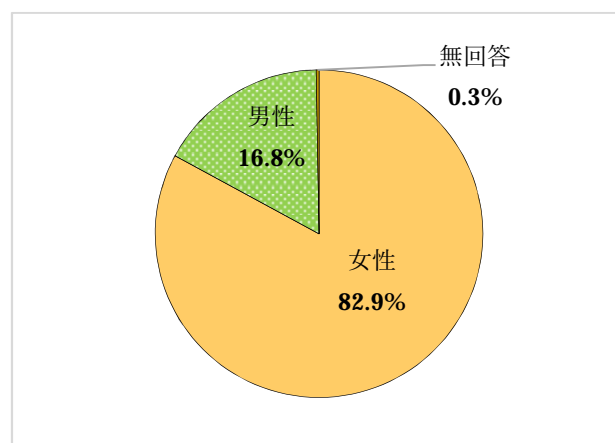
[Q1] 年代

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
5	79	316	371	242	68	18	1099
0.5%	7.2%	28.8%	33.8%	22.0%	6.2%	1.6%	100.0%

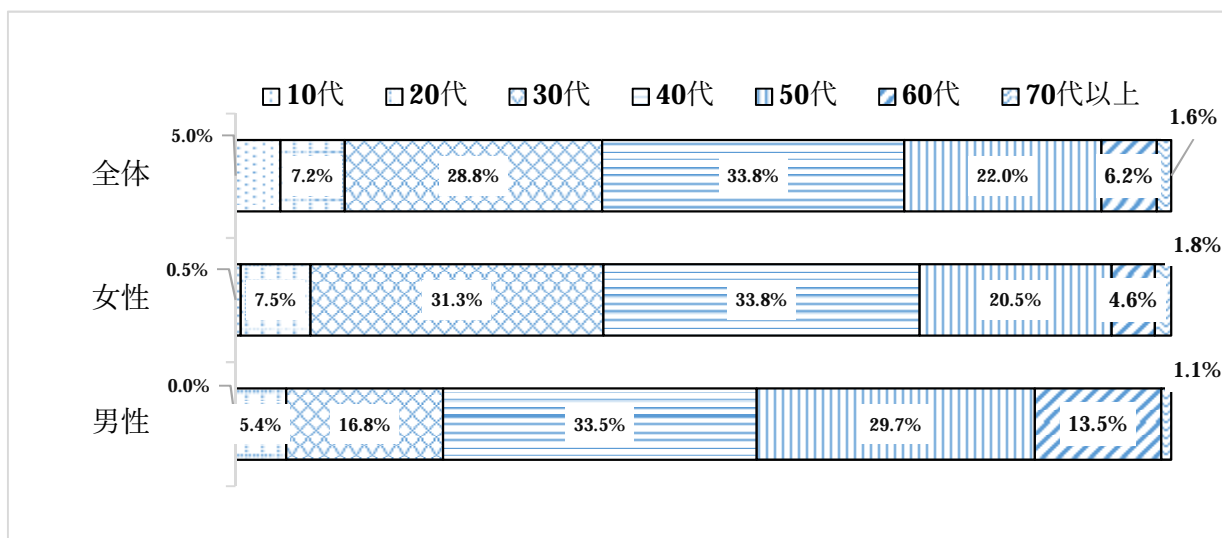


[Q2] 性別（自認する性）

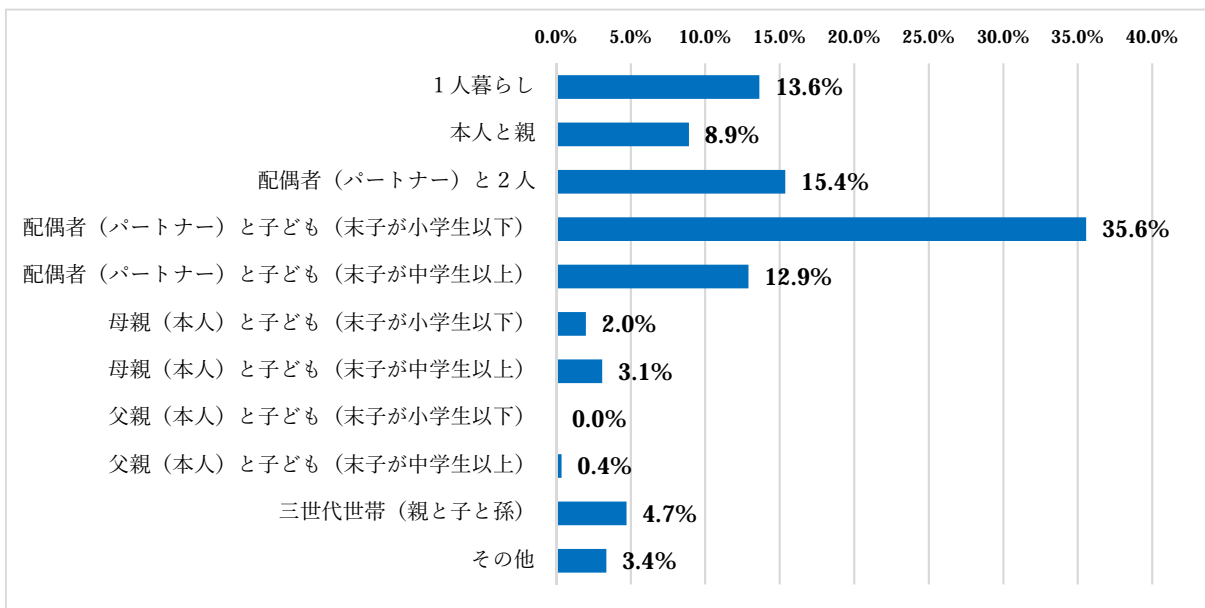
女性	男性	無回答	計
911	185	3	1099
82.9%	16.8%	0.3%	100.0%



[Q1] 年代 × [Q2] 性別

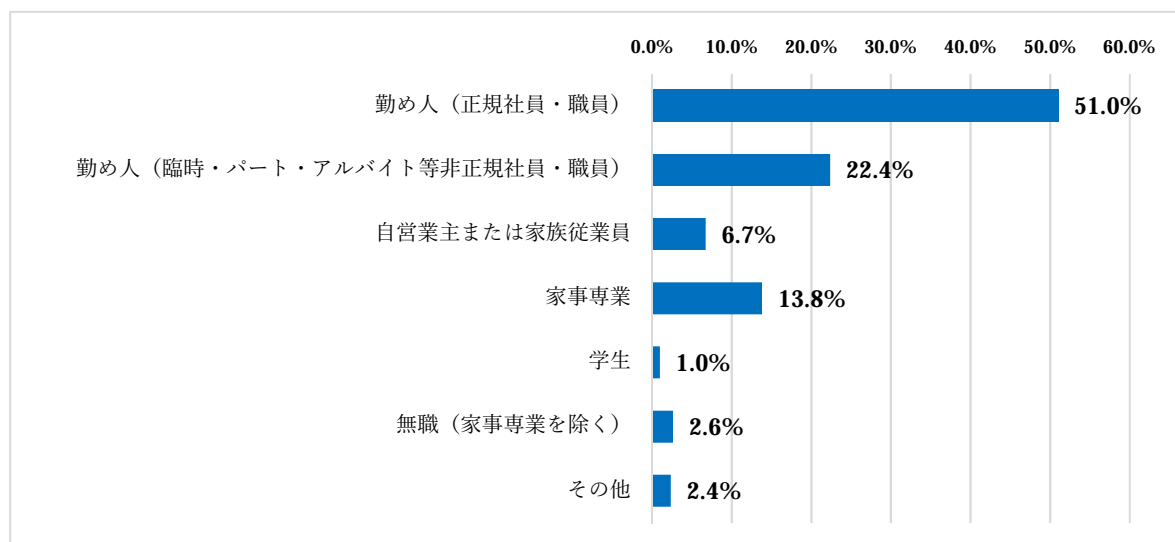


[Q3] 家族形態



※以下、Q3の設問「配偶者（パートナー）と2人」は「配偶者と2人」、「配偶者（パートナー）と子ども（末子が小学生以下）」は「配偶者と末子小学生以下」、「配偶者（パートナー）と子ども（末子が中学生以上）」は「配偶者と末子中学生以上」、「母親（本人）と子ども（末子が小学生以下）」は「母と末子小学生以下」、「母親（本人）と子ども（末子が中学生以上）」は「母と末子中学生以上」、「父親（本人）と子ども（末子が小学生以下）」は「父と末子小学生以下」、「父親（本人）と子ども（末子が中学生以上）」は「父と末子中学生以上」、「三世帯世帯（親と子と孫）」は「三世帯世帯」と表記

[Q4] 職業（新型コロナウイルスの影響で仕事を辞めた方は、辞める前の職業）



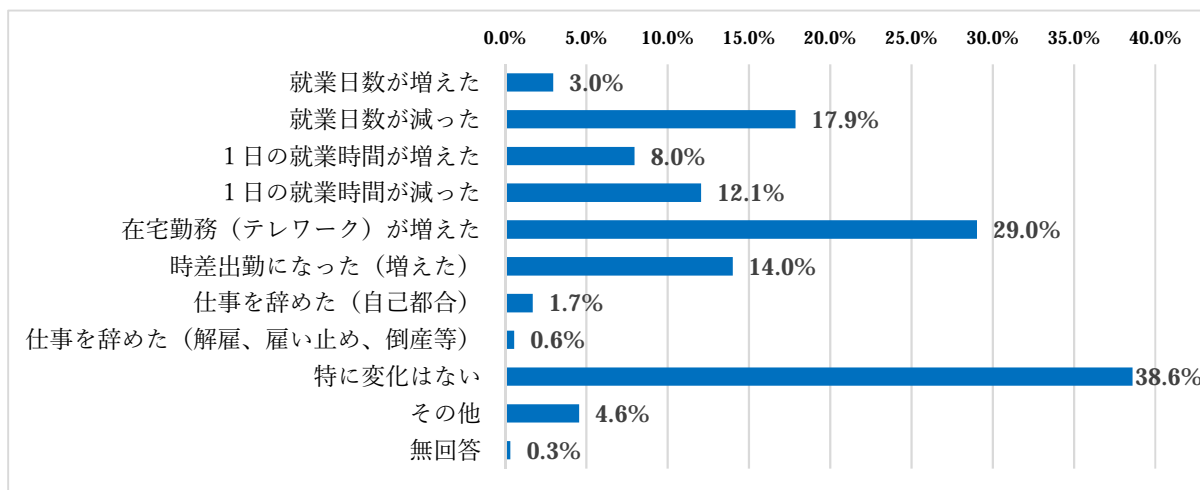
※以下、Q4の設問「勤め人（正規社員・職員）」は「正社員」、「勤め人（臨時・パート・アルバイト等非正規社員・職員）」は「非正規」、「自営業主または家族従業員」は「自営業」と表記

Ⅲ 調査結果

【働き方の変化】

【Q5】 コロナ禍前と現在とを比較し、新型コロナウイルスの影響により働き方に変化はありましたか。【複数回答可】

※【Q4】で職業を「正社員」「非正規」「自営業」と回答した人の回答



【Q4】で職業を「正社員」「非正規」「自営業」と回答した人に、働き方の変化をたずねたところ、「特に変化はない」が**38.6%**と最も高く、「在宅勤務（テレワーク）が増えた」が**29.0%**、「就業日数が減った」が**17.9%**と続いている。

【Q5】 働き方の変化 × 【Q2】 性別 × 【Q4】 職業

※サンプル数が少ないデータは参考値とする

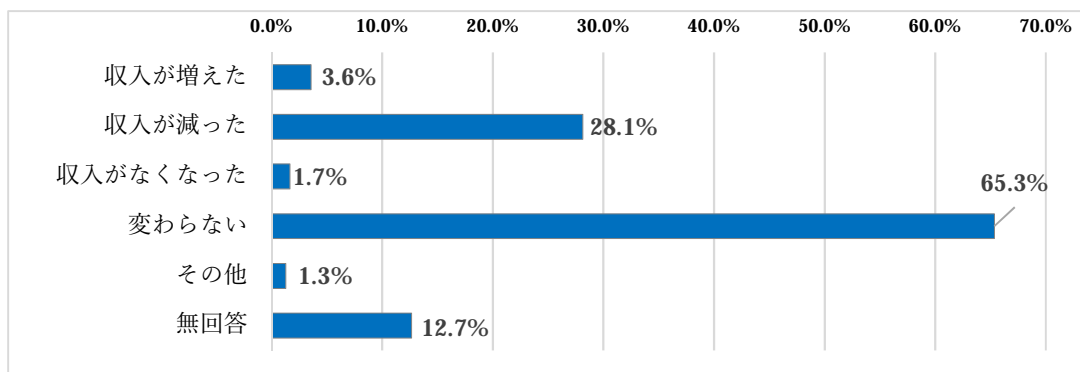
	n=	就業日数が増えた	就業日数が減った	1日の就業時間が増えた	1日の就業時間が減った	在宅勤務（テレワーク）が増えた	時差出勤になった（増えた）	仕事を辞めた（自己都合）	仕事を辞めた（解雇、雇い止め、倒産等）	特に変化はない	その他	無回答	
全体	計	878	3.0%	17.9%	8.0%	12.1%	29.0%	14.0%	1.7%	0.6%	38.6%	4.6%	0.3%
	正社員	559	2.5%	10.0%	9.5%	9.8%	37.2%	18.4%	0.5%	0.4%	36.3%	4.3%	0.4%
	非正規	245	3.7%	31.8%	6.5%	14.3%	13.5%	6.9%	4.9%	1.2%	44.1%	5.3%	0.4%
	自営業	74	4.1%	31.1%	1.4%	21.6%	18.9%	4.1%	-	-	37.8%	4.1%	-
女性	計	697	3.0%	17.6%	7.0%	12.3%	28.1%	13.2%	2.2%	0.7%	38.3%	5.2%	0.4%
	正社員	411	2.4%	8.5%	8.0%	10.5%	37.7%	18.5%	0.7%	0.5%	35.5%	5.1%	0.5%
	非正規	230	3.9%	31.3%	7.0%	13.0%	12.6%	6.5%	5.2%	1.3%	44.3%	5.2%	0.4%
	自営業	56	3.6%	28.6%	-	23.2%	21.4%	1.8%	-	-	33.9%	5.4%	-
男性	計	179	2.8%	19.0%	11.7%	11.2%	31.8%	17.3%	-	-	40.2%	1.7%	-
	正社員	146	2.7%	14.4%	13.7%	8.2%	34.9%	18.5%	-	-	39.0%	1.4%	-
	非正規	15	-	40.0%	-	33.3%	26.7%	13.3%	-	-	40.0%	6.7%	-
	自営業	18	5.6%	38.9%	5.6%	16.7%	11.1%	11.1%	-	-	50.0%	-	-

働き方の変化を職業別にみると、「在宅勤務（テレワーク）が増えた」とした「正社員」は**37.2%**に対し、「非正規」は**13.5%**と正社員の約**3分の1**となっている。

【収入の変化】

【Q6】 コロナ禍前と現在とを比較し、収入に影響はありましたか。

※【Q4】で職業を「正社員」「非正規」「自営業」と回答した人の回答



【Q4】で職業を「正社員」「非正規」「自営業」と回答した人に、コロナ禍前と現在とを比較し、収入への影響をたずねたところ、「変わらない」が**65.3%**と最も高く、次いで「収入が減った」が**28.1%**と続いている。

【Q6】収入変化 × 【Q2】性別 × 【Q4】職業

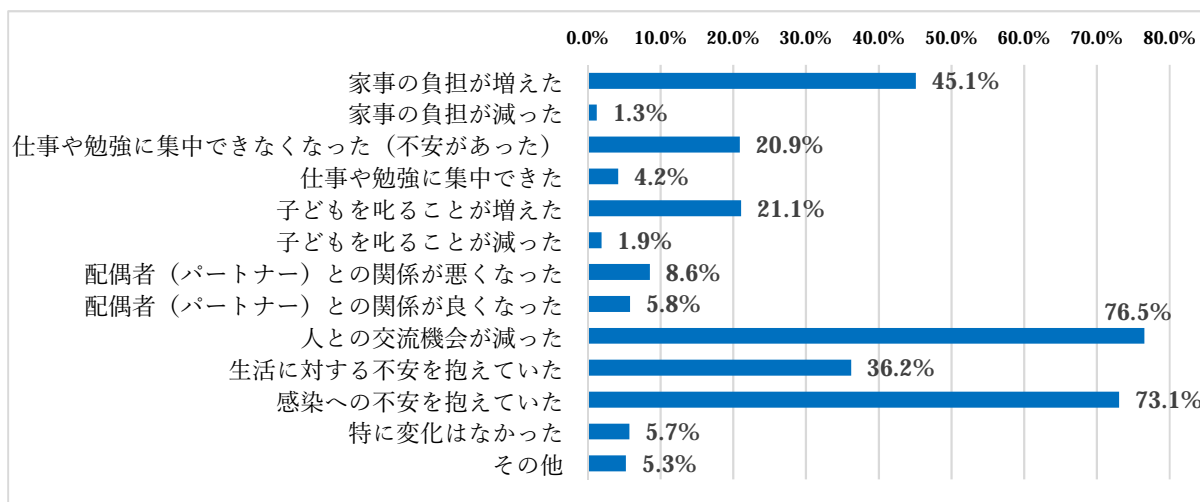
※サンプル数が少ないデータは参考値とする

		n=	収入が増えた	収入が減った	収入がなくなった	変わらない	その他	無回答
全体	計	782	3.6%	28.1%	1.7%	65.3%	1.3%	12.7%
	正社員	498	3.0%	18.5%	0.6%	76.3%	1.6%	12.7%
	非正規	217	3.7%	38.7%	4.1%	53.0%	0.5%	13.4%
	自営業	67	7.5%	65.7%	1.5%	23.9%	1.5%	10.4%
女性	計	615	3.9%	28.9%	2.1%	63.4%	1.6%	13.8%
	正社員	362	3.9%	19.3%	0.8%	73.8%	2.2%	14.1%
	非正規	204	3.9%	36.8%	4.4%	54.4%	0.5%	13.2%
	自営業	49	4.1%	67.3%	2.0%	24.5%	2.0%	14.3%
男性	計	165	2.4%	25.5%	-	72.1%	-	8.5%
	正社員	134	0.7%	16.4%	-	82.8%	-	9.0%
	非正規	13	-	69.2%	-	30.8%	-	15.4%
	自営業	18	16.7%	61.1%	-	22.2%	-	-

収入の変化を職業別にみると、「正社員」では「変わらない」が**76.3%**と最も高く、「収入が減った」が**18.5%**であるのに対し、「非正規」では「変わらない」が**53.0%**で最も高いものの、「収入が減った」が**38.7%**と「正社員」よりも**20.2**ポイント高くなっている。また、「自営業」では「収入が減った」が**65.7%**と最も高く、「変わらない」は**23.9%**となっている。

【緊急事態宣言中とコロナ禍前の生活等の変化】

【Q7】 緊急事態宣言が出ている間（4月7日～5月21日）、コロナ禍前に比べ、あなたの生活や行動、心身に変化がありましたか。【複数回答可】



緊急事態宣言期間中とコロナ禍前の、生活や行動、心身の変化をたずねたところ、「人との交流機会が減った」が76.5%と最も高く、「感染への不安を抱えていた」が73.1%、「家事の負担が増えた」が45.1%と続いている。

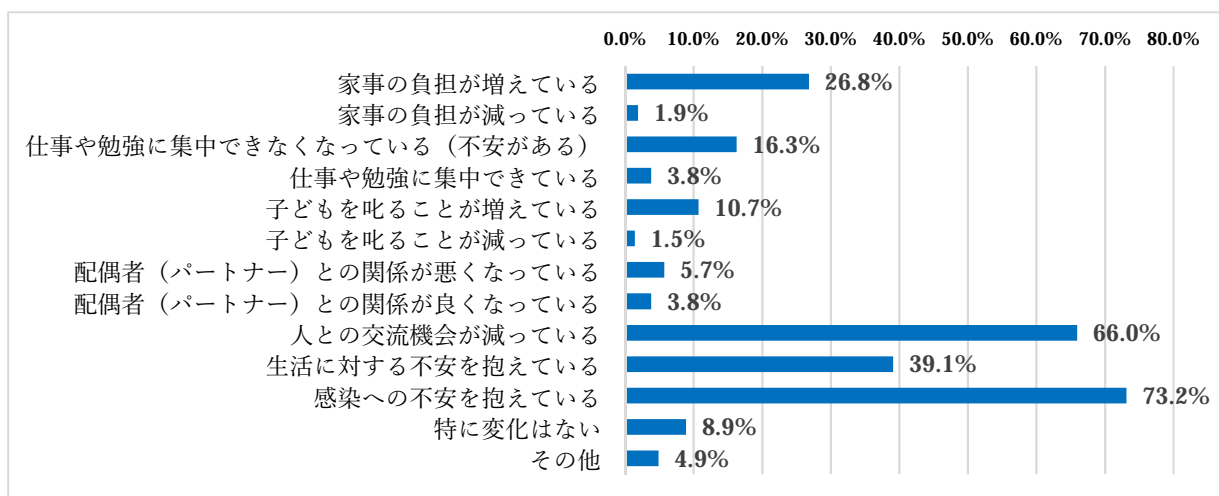
【Q7】 緊急事態宣言中の変化 × 【Q2】 性別 × 【Q3】家族形態 ※サンプル数が少ないデータは参考値とする

	n	変化の内容													
		家事の負担が増えた	家事の負担が減った	仕事や勉強に集中できなくなった（不安があった）	仕事や勉強に集中できた	子どもを叱ることが増えた	子どもを叱ることが減った	配偶者（パートナー）との関係が悪くなった	配偶者（パートナー）との関係が良くなった	人との交流機会が減った	生活に対する不安を抱えていた	感染への不安を抱えていた	特に変化はなかった	その他	
全体	計	1099	45.1%	1.3%	20.9%	4.2%	21.1%	1.9%	8.6%	5.8%	76.5%	36.2%	73.1%	5.7%	5.3%
	1人暮らし	150	12.0%	0.7%	15.3%	9.3%	0.7%	0.7%	-	1.3%	84.7%	37.3%	68.0%	4.0%	6.7%
	本人と親	98	18.4%	-	28.6%	9.2%	1.0%	-	2.0%	-	71.4%	35.7%	73.5%	9.2%	3.1%
	配偶者と2人	169	33.7%	1.8%	16.0%	3.6%	-	-	5.9%	14.2%	78.7%	29.0%	71.0%	8.9%	5.3%
	配偶者と末子小学生以下	391	65.7%	2.0%	23.5%	1.0%	47.8%	3.8%	14.6%	7.2%	77.5%	42.5%	74.9%	4.3%	4.1%
	配偶者と末子中学生以上	142	47.9%	0.7%	19.0%	2.8%	9.9%	-	12.0%	4.9%	72.5%	28.2%	73.9%	7.7%	3.5%
	母と末子小学生以下	22	77.3%	-	27.3%	-	36.4%	4.5%	-	-	72.7%	50.0%	72.7%	-	9.1%
	母と末子中学生以上	34	64.7%	-	23.5%	14.7%	11.8%	2.9%	-	-	64.7%	38.2%	79.4%	-	11.8%
	父と末子小学生以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	父と末子中学生以上	4	25.0%	-	-	25.0%	-	-	-	-	75.0%	-	50.0%	25.0%	-
	三世代世帯	52	50.0%	1.9%	19.2%	3.8%	28.8%	5.8%	11.5%	1.9%	73.1%	26.9%	78.8%	5.8%	7.7%
	その他	37	32.4%	-	24.3%	2.7%	5.4%	-	5.4%	5.4%	70.3%	37.8%	67.6%	2.7%	13.5%
女性	計	911	48.8%	1.3%	20.7%	4.2%	23.6%	2.1%	8.6%	5.7%	78.5%	38.0%	75.2%	4.6%	5.4%
	1人暮らし	126	11.1%	0.8%	15.9%	10.3%	0.8%	0.8%	-	1.6%	84.1%	38.1%	73.0%	3.2%	7.1%
	本人と親	81	17.3%	-	29.6%	9.9%	-	-	1.2%	-	75.3%	38.3%	77.8%	7.4%	3.7%
	配偶者と2人	132	38.6%	2.3%	16.7%	3.8%	-	-	6.8%	12.9%	81.1%	29.5%	72.0%	8.3%	5.3%
	配偶者と末子小学生以下	333	70.0%	2.1%	21.6%	1.2%	51.7%	3.9%	15.3%	7.5%	80.5%	43.8%	77.5%	3.3%	3.3%
	配偶者と末子中学生以上	101	56.4%	-	19.8%	1.0%	12.9%	-	11.9%	5.0%	75.2%	31.7%	74.3%	6.9%	4.0%
	母と末子小学生以下	22	77.3%	-	27.3%	-	36.4%	4.5%	-	-	72.7%	50.0%	72.7%	-	9.1%
	母と末子中学生以上	33	66.7%	-	24.2%	12.1%	12.1%	3.0%	-	-	63.6%	36.4%	78.8%	-	12.1%
	父と末子小学生以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	父と末子中学生以上	2	50.0%	-	-	50.0%	-	-	-	-	50.0%	-	-	-	-
	三世代世帯	45	53.3%	2.2%	17.8%	2.2%	33.3%	6.7%	8.9%	2.2%	75.6%	31.1%	80.0%	4.4%	8.9%
	その他	36	33.3%	-	25.0%	2.8%	5.6%	-	2.8%	5.6%	69.4%	36.1%	66.7%	2.8%	13.9%
男性	計	185	27.0%	1.1%	21.6%	4.3%	8.6%	1.1%	8.6%	6.5%	67.0%	27.6%	63.2%	11.4%	4.3%
	1人暮らし	23	17.4%	-	13.0%	4.3%	-	-	-	-	87.0%	34.8%	39.1%	8.7%	-
	本人と親	16	25.0%	-	25.0%	6.3%	6.3%	-	6.3%	-	50.0%	25.0%	56.3%	18.8%	-
	配偶者と2人	37	16.2%	-	13.5%	2.7%	-	-	2.7%	18.9%	70.3%	27.0%	67.6%	10.8%	5.4%
	配偶者と末子小学生以下	57	40.4%	1.8%	33.3%	-	24.6%	3.5%	10.5%	5.3%	61.4%	33.3%	61.4%	10.5%	8.8%
	配偶者と末子中学生以上	41	26.8%	2.4%	17.1%	7.3%	2.4%	-	12.2%	4.9%	65.9%	19.3%	73.2%	9.8%	2.4%
	母と末子小学生以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	母と末子中学生以上	1	-	-	-	100.0%	-	-	-	-	100.0%	100.0%	100.0%	-	-
	父と末子小学生以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	父と末子中学生以上	2	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0%	-	100.0%	50.0%	-
	三世代世帯	7	28.6%	-	28.6%	14.3%	-	-	28.6%	-	57.1%	-	71.4%	14.3%	-
	その他	1	-	-	-	-	-	-	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	-	-

性別・家族形態別にみると、「家事の負担が増えた」と回答した「配偶者と末子小学生以下」の女性は70.0%で、「配偶者と末子小学生以下」の男性40.4%を大きく上回っている。また、「家事の負担が増えた」と回答した家族形態は、「母と末子小学生以下」が77.3%と最も高くなっている。

【現在とコロナ禍前の生活等の変化】

【Q8】 現在、新型コロナウイルスの影響で、コロナ禍前に比べ、あなたの生活や行動、心身に変化はありますか。【複数回答可】



現在とコロナ禍前の、生活や行動、心身の変化をたずねたところ、「感染への不安を抱えている」が73.2%と最も高く、「人との交流機会が減っている」が66.0%、「生活に対する不安を抱えている」が39.1%と続いた。「家事の負担が増えた・増えている」は、【Q7】（緊急事態宣言中）では45.1%であったのに対し、【Q8】（現在）では26.8%と減少している。

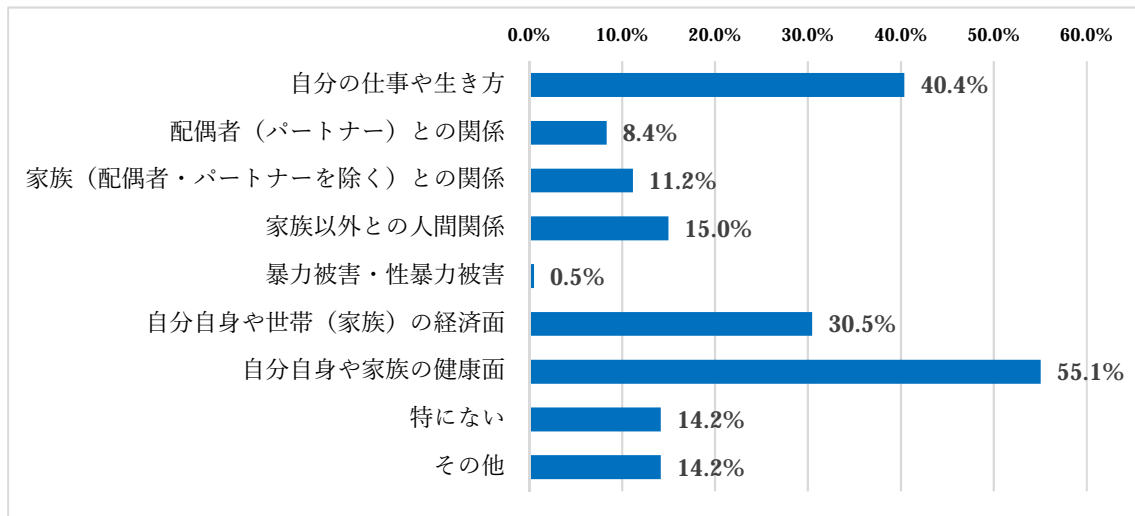
【Q8】現在とコロナ禍前の心身の変化 × 【Q2】性別 × 【Q3】家族 ※サンプル数が少ないデータは参考値とする

	n=	家事の負担が増えている	家事の負担が減っている	仕事や勉強に集中できなくなっている（不安がある）	仕事や勉強に集中できている	子どもを叱ることが増えている	子どもを叱ることが減っている	配偶者（パートナー）との関係が悪くなっている	配偶者（パートナー）との関係が良くなっている	人との交流機会が減っている	生活に対する不安を抱えている	感染への不安を抱えている	特に変化はない	その他		
全体	計	1099	26.8%	1.9%	16.3%	3.8%	10.7%	1.5%	5.7%	3.8%	66.0%	39.1%	73.2%	8.9%	4.9%	
女性	1人暮らし	150	10.0%	0.7%	14.7%	8.0%	-	-	0.7%	1.3%	74.0%	34.0%	68.7%	6.7%	6.0%	
	本人と親	98	11.2%	-	24.5%	6.1%	1.0%	-	1.0%	-	62.2%	42.9%	72.4%	7.1%	8.2%	
	配偶者と2人	169	25.4%	1.8%	17.2%	2.4%	-	-	4.7%	10.7%	68.0%	35.5%	72.2%	10.7%	6.5%	
	配偶者と末子小学生以下	391	34.3%	2.8%	14.1%	1.5%	24.6%	2.6%	8.7%	4.1%	64.5%	42.7%	74.9%	9.2%	2.6%	
	配偶者と末子中学生以上	142	33.8%	0.7%	13.4%	4.9%	4.9%	0.7%	9.2%	2.1%	65.5%	35.2%	73.9%	12.7%	2.8%	
	母と末子小学生以下	22	40.9%	-	9.1%	4.5%	22.7%	-	-	-	45.5%	54.5%	77.3%	4.5%	9.1%	
	母と末子中学生以上	34	41.2%	5.9%	20.6%	5.9%	8.8%	5.9%	-	-	64.7%	41.2%	82.4%	5.9%	5.9%	
	父と末子小学生以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	父と末子中学生以上	4	25.0%	-	25.0%	25.0%	-	-	-	25.0%	50.0%	25.0%	75.0%	-	-	
	三世代世帯	52	26.9%	1.9%	25.0%	3.8%	11.5%	5.8%	9.6%	1.9%	61.5%	32.7%	69.2%	7.7%	9.6%	
	その他	37	16.2%	5.4%	18.9%	2.7%	-	-	2.7%	2.7%	73.0%	43.2%	70.3%	5.4%	8.1%	
	女性	計	911	27.9%	2.2%	16.0%	3.4%	11.6%	1.8%	5.8%	3.3%	66.0%	40.2%	74.9%	7.7%	5.4%
	男性	1人暮らし	126	8.7%	0.8%	15.9%	9.5%	-	-	0.8%	1.6%	69.8%	35.7%	70.6%	6.3%	6.3%
		本人と親	81	8.6%	-	25.9%	4.9%	-	-	-	-	64.2%	43.2%	74.1%	4.9%	8.6%
配偶者と2人		132	27.3%	1.5%	18.9%	2.3%	-	-	5.3%	9.1%	68.9%	34.1%	73.5%	9.8%	7.6%	
配偶者と末子小学生以下		333	35.4%	3.3%	12.3%	1.5%	25.8%	3.0%	9.0%	4.2%	64.9%	43.5%	78.1%	7.5%	2.4%	
配偶者と末子中学生以上		101	39.6%	1.0%	10.9%	1.0%	5.9%	1.0%	9.9%	-	66.3%	36.6%	73.3%	12.9%	4.0%	
母と末子小学生以下		22	40.9%	-	9.1%	4.5%	22.7%	-	-	-	45.5%	54.5%	77.3%	4.5%	9.1%	
母と末子中学生以上		33	42.4%	6.1%	21.2%	6.1%	9.1%	6.1%	-	-	66.7%	42.4%	84.8%	3.0%	6.1%	
父と末子小学生以下		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
父と末子中学生以上		2	50.0%	-	-	50.0%	-	-	-	50.0%	50.0%	-	50.0%	-	-	
三世代世帯		45	26.7%	2.2%	26.7%	2.2%	13.3%	6.7%	8.9%	-	62.2%	37.8%	68.9%	6.7%	11.1%	
その他		36	16.7%	5.6%	19.4%	2.8%	-	-	2.8%	2.8%	72.2%	44.4%	69.4%	5.6%	8.3%	
男性		計	185	21.6%	0.5%	17.3%	5.9%	6.5%	-	5.4%	6.5%	65.9%	33.5%	65.4%	15.1%	2.2%
その他		1人暮らし	23	17.4%	-	4.3%	-	-	-	-	-	95.7%	26.1%	56.5%	8.7%	-
		本人と親	16	25.0%	-	18.8%	12.5%	6.3%	-	6.3%	-	50.0%	37.5%	68.8%	18.8%	6.3%
	配偶者と2人	37	18.9%	2.7%	10.8%	2.7%	-	-	2.7%	16.2%	64.9%	40.5%	67.6%	13.5%	2.7%	
	配偶者と末子小学生以下	57	26.3%	-	24.6%	1.8%	17.5%	-	7.0%	3.5%	63.2%	36.8%	57.9%	19.3%	3.5%	
	配偶者と末子中学生以上	41	19.5%	-	19.5%	14.6%	2.4%	-	7.3%	7.3%	63.4%	31.7%	75.6%	12.2%	-	
	母と末子小学生以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	母と末子中学生以上	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0%	-	
	父と末子小学生以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	父と末子中学生以上	2	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0%	50.0%	100.0%	-	-	
	三世代世帯	7	28.6%	-	14.3%	14.3%	-	-	14.3%	14.3%	57.1%	-	71.4%	14.3%	-	
	その他	1	-	-	100.0%	-	-	-	-	-	100.0%	-	100.0%	-	-	

性別で見ると、女性は「感染への不安を抱えている」が74.9%、「人との交流機会が減っている」が66.0%の順であるが、男性は「人との交流機会が減っている」が65.9%と最も高くなっている。

【今、困っていること】

【Q9】 今、困っていることは何ですか。【複数回答可】



今、困っていることをたずねたところ、「自分自身や家族の健康面」が**55.1%**と最も高く、「自分の仕事や生き方」が**40.4%**、「自分自身や世帯（家族）の経済面」**30.5%**と続いている。

【Q9】 困っていること × 【Q2】 性別 × 【Q4】 職業 ※サンプル数が少ないデータは参考値とする

	n=	困っていること									
		自分の仕事や生き方	配偶者（パートナー）との関係	家族（配偶者・パートナーを除く）との関係	家族以外との人間関係	暴力被害・性暴力被害	自分自身や世帯（家族）の経済面	自分自身や家族の健康面	特にない	その他	
全体	計	1099	40.4%	8.4%	11.2%	15.0%	0.5%	30.5%	55.1%	14.2%	14.2%
女性	正社員	561	41.7%	7.0%	9.8%	14.1%	0.2%	20.3%	51.0%	18.4%	12.7%
	非正規	246	44.7%	8.9%	11.8%	14.6%	0.8%	44.7%	56.5%	11.8%	14.2%
	自営業	74	45.9%	13.5%	13.5%	14.9%	-	50.0%	48.6%	9.5%	12.2%
	家事専業	152	27.6%	12.5%	13.8%	15.8%	0.7%	36.8%	70.4%	7.9%	15.1%
	学生	11	36.4%	-	18.2%	18.2%	9.1%	18.2%	45.5%	-	63.6%
	無職（家事専業を除く）	29	24.1%	3.4%	13.8%	27.6%	-	27.6%	62.1%	10.3%	20.7%
	その他	26	50.0%	3.8%	7.7%	19.2%	3.8%	30.8%	53.8%	7.7%	19.2%
	計	911	40.6%	8.3%	12.3%	15.9%	0.4%	31.4%	57.5%	13.3%	14.1%
男性	正社員	413	43.3%	6.8%	11.9%	15.3%	-	20.3%	52.1%	17.7%	12.3%
	非正規	231	44.2%	9.1%	11.7%	15.2%	0.9%	45.0%	58.9%	11.7%	14.3%
	自営業	56	48.2%	10.7%	12.5%	14.3%	-	48.2%	57.1%	8.9%	8.9%
	家事専業	152	27.6%	12.5%	13.8%	15.8%	0.7%	36.8%	70.4%	7.9%	15.1%
	学生	10	40.0%	-	20.0%	20.0%	10.0%	20.0%	50.0%	-	60.0%
	無職（家事専業を除く）	29	24.1%	3.4%	13.8%	27.6%	-	27.6%	62.1%	10.3%	20.7%
	その他	20	45.0%	5.0%	10.0%	25.0%	-	25.0%	55.0%	5.0%	20.0%
	計	185	40.0%	8.6%	5.9%	10.3%	1.1%	25.9%	43.2%	18.9%	14.1%
男性	正社員	146	37.7%	7.5%	4.1%	10.3%	0.7%	19.9%	47.9%	20.5%	13.0%
	非正規	15	53.3%	6.7%	13.3%	6.7%	-	40.0%	20.0%	13.3%	13.3%
	自営業	18	38.9%	22.2%	16.7%	16.7%	-	55.6%	22.2%	11.1%	22.2%
	家事専業	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	学生	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無職（家事専業を除く）	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	6	66.7%	-	-	-	16.7%	50.0%	50.0%	16.7%	16.7%

性別で見ると、「家族（配偶者・パートナーを除く）との関係」「家族以外との人間関係」「自分自身や世帯（家族）の経済面」「自分自身や家族の健康面」と回答した女性が、いずれも男性より**5**ポイント以上高くなっている。一方で、「特にない」の回答が、女性は**13.3%**であるのに対し、男性は**18.9%**で女性より高くなっている。

職業別にみると、自営業では「自分自身や世帯（家族）の経済面」の回答が**50.0%**と最も高かった。また、同じく「経済面」と回答した「正社員」は**20.3%**であるのに対し、「非正規」は**44.7%**と**2**倍以上であった。

[Q9] 困っていること × [Q2] 性別 × [Q3] 家族形態

※サンプル数が少ないデータは参考値とする

	n=	自分の仕事や 生き方	配偶者(パート ナー)との関係	家族(配偶者・ パートナーを除 く)との関係	家族以外との 人間関係	暴力被害・性 暴力被害	自分自身や世 帯(家族)の経 済面	自分自身や家 族の健康面	特にな い	その他	
全体	計	1099	40.4%	8.4%	11.2%	15.0%	0.5%	30.5%	55.1%	14.2%	14.2%
	1人暮らし	150	52.0%	2.0%	8.0%	12.7%	0.7%	19.3%	42.7%	15.3%	14.7%
	本人と親	98	44.9%	1.0%	13.3%	17.3%	2.0%	28.6%	58.2%	11.2%	13.3%
	配偶者と2人	169	33.7%	8.9%	9.5%	14.8%	-	26.0%	59.2%	17.8%	19.5%
	配偶者と末子小学生以下	391	37.3%	10.7%	12.0%	15.1%	0.5%	34.3%	56.3%	13.6%	13.8%
	配偶者と末子中学生以上	142	33.1%	14.1%	7.7%	15.5%	0.7%	31.7%	53.5%	15.5%	11.3%
	母と末子小学生以下	22	63.6%	9.1%	13.6%	22.7%	-	63.6%	68.2%	4.5%	9.1%
	母と末子中学生以上	34	55.9%	5.9%	11.8%	11.8%	-	44.1%	61.8%	5.9%	8.8%
	父と末子小学生以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	父と末子中学生以上	4	50.0%	-	-	-	-	25.0%	25.0%	25.0%	-
	三世代世帯	52	30.8%	9.6%	21.2%	17.3%	-	30.8%	57.7%	17.3%	13.5%
	その他	37	56.8%	5.4%	16.2%	13.5%	-	24.3%	56.8%	10.8%	16.2%
女性	計	911	40.6%	8.3%	12.3%	15.9%	0.4%	31.4%	57.5%	13.3%	14.1%
	1人暮らし	126	52.4%	2.4%	8.7%	12.7%	0.8%	18.3%	46.0%	14.3%	13.5%
	本人と親	81	45.7%	1.2%	13.6%	21.0%	1.2%	28.4%	60.5%	9.9%	13.6%
	配偶者と2人	132	34.1%	9.8%	11.4%	15.2%	-	26.5%	62.1%	19.7%	18.2%
	配偶者と末子小学生以下	333	38.4%	11.1%	12.9%	15.9%	0.6%	34.8%	58.0%	12.3%	13.2%
	配偶者と末子中学生以上	101	28.7%	13.9%	9.9%	15.8%	-	35.6%	56.4%	12.9%	14.9%
	母と末子小学生以下	22	63.6%	9.1%	13.6%	22.7%	-	63.6%	68.2%	4.5%	9.1%
	母と末子中学生以上	33	54.5%	6.1%	9.1%	12.1%	-	45.5%	63.6%	6.1%	9.1%
	父と末子小学生以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	父と末子中学生以上	2	-	-	-	-	-	-	50.0%	50.0%	-
	三世代世帯	45	28.9%	6.7%	22.2%	20.0%	-	33.3%	62.2%	15.6%	13.3%
	その他	36	55.6%	2.8%	16.7%	13.9%	-	25.0%	55.6%	11.1%	16.7%
男性	計	185	40.0%	8.6%	5.9%	10.3%	1.1%	25.9%	43.2%	18.9%	14.1%
	1人暮らし	23	52.2%	-	4.3%	8.7%	-	26.1%	26.1%	21.7%	17.4%
	本人と親	16	43.8%	-	12.5%	-	6.3%	31.3%	50.0%	18.8%	6.3%
	配偶者と2人	37	32.4%	5.4%	2.7%	13.5%	-	24.3%	48.6%	10.8%	24.3%
	配偶者と末子小学生以下	57	31.6%	8.8%	7.0%	10.5%	-	29.8%	45.6%	21.1%	17.5%
	配偶者と末子中学生以上	41	43.9%	14.6%	2.4%	14.6%	2.4%	22.0%	46.3%	22.0%	2.4%
	母と末子小学生以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	母と末子中学生以上	1	100.0%	-	100.0%	-	-	-	-	-	-
	父と末子小学生以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	父と末子中学生以上	2	100.0%	-	-	-	-	50.0%	-	-	-
	三世代世帯	7	42.9%	28.6%	14.3%	-	-	14.3%	28.6%	28.6%	14.3%
	その他	1	100.0%	100.0%	-	-	-	-	100.0%	-	-

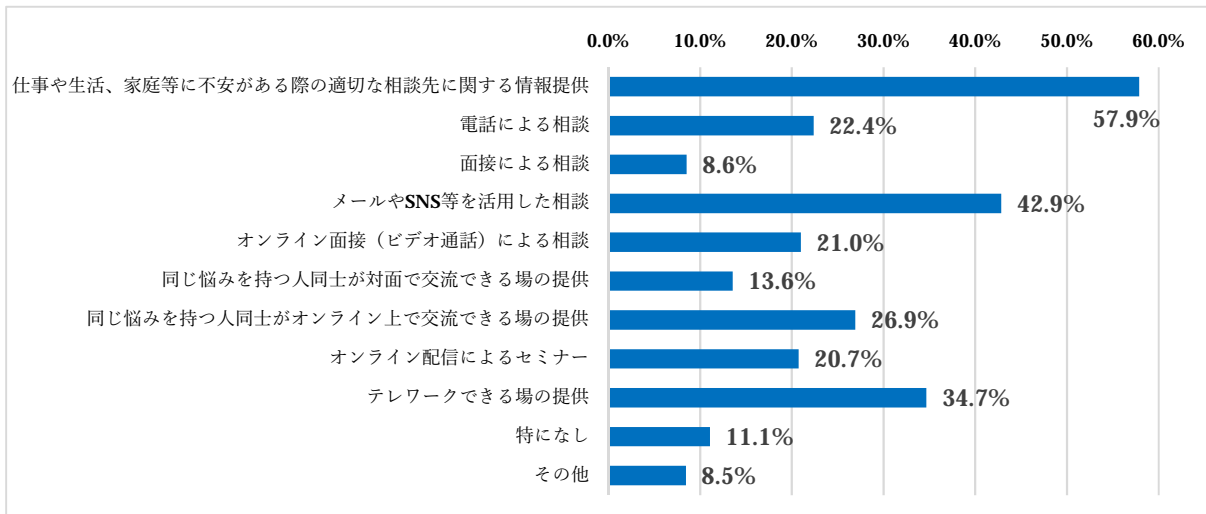
家族形態別にみると、「母と末子小学生以下」では「自分の仕事や生き方」「自分自身や世帯(家族)の経済面」「自分自身や家族の健康面」への回答がいずれも6割以上であり、かつ、他の家族形態と比較しても最も高くなっている。

[Q10] Q9で「⑨その他」と回答された方は、詳細をご記入ください。【自由回答】

- ・本人の仕事や生活に関すること 56件
- ・子ども、育児に関すること 41件
- ・子ども以外の家族の健康(介護等)に関すること 28件
- ・本人の健康に関すること 19件
- ・政治・経済・風潮に関すること 15件
- ・職場環境、テレワークに関すること 9件
- ・人間関係(家族、その他)に関すること 8件
- ・妊娠・妊活に関すること 6件
- ・その他 11件

【女性に対する必要な支援施策】

【Q11】 コロナ禍の中、女性に対する支援としてどのような施策が必要と思われますか。【複数回答可】



女性に対する支援としてどのような施策が必要かたずねたところ、「仕事や生活、家庭等に不安がある際の適切な相談先に関する情報提供」が**57.9%**と最も高く、「メールや SNS 等を活用した相談」が**42.9%**、「テレワークできる場の提供」が**34.7%**、「同じ悩みを持つ人同士がオンライン上で交流できる場の提供」が**26.9%**と続いた。

【Q11】 必要な支援施策 × 【Q1】 年代 × 【Q2】 性別

※サンプル数が少ないデータは参考値とする

		n=	仕事や生活、家庭等に不安がある際の適切な相談先に関する情報提供	電話による相談	面接による相談	メールやSNS等を活用した相談	オンライン面接（ビデオ通話）による相談	同じ悩みを持つ人同士が対面で交流できる場の提供	同じ悩みを持つ人同士がオンライン上で交流できる場の提供	オンライン配信によるセミナー	テレワークできる場の提供	特になし	その他
全体	計	1099	57.9%	22.4%	8.6%	42.9%	21.0%	13.6%	26.9%	20.7%	34.7%	11.1%	8.5%
	10代	5	40.0%	-	-	-	20.0%	-	40.0%	20.0%	40.0%	40.0%	-
	20代	79	57.0%	13.9%	5.1%	39.2%	11.4%	15.2%	25.3%	15.2%	45.6%	6.3%	11.4%
	30代	316	55.7%	17.4%	6.0%	41.1%	18.7%	11.7%	26.3%	20.3%	36.1%	12.7%	10.1%
	40代	371	52.8%	18.6%	6.5%	40.2%	19.7%	13.7%	25.3%	21.3%	32.6%	13.2%	7.5%
	50代	242	63.2%	32.6%	12.8%	50.4%	25.6%	14.0%	30.6%	22.3%	33.5%	8.7%	7.0%
	60代	68	73.5%	39.7%	17.6%	50.0%	32.4%	16.2%	25.0%	19.1%	30.9%	5.9%	5.9%
	70代以上	18	77.8%	27.8%	22.2%	27.8%	27.8%	22.2%	33.3%	27.8%	33.3%	5.6%	16.7%
女性	計	911	56.5%	21.1%	7.1%	42.7%	18.8%	13.1%	25.7%	21.0%	33.8%	11.4%	8.8%
	10代	5	40.0%	-	-	-	20.0%	-	40.0%	20.0%	40.0%	40.0%	-
	20代	68	61.8%	10.3%	2.9%	38.2%	10.3%	11.8%	22.1%	14.7%	45.6%	7.4%	11.8%
	30代	285	54.0%	17.2%	5.3%	41.4%	17.2%	11.2%	25.6%	19.6%	35.4%	13.0%	9.8%
	40代	308	50.0%	17.5%	5.5%	39.0%	16.9%	14.3%	23.7%	21.8%	31.2%	13.6%	7.5%
	50代	187	64.2%	33.7%	12.3%	52.9%	24.1%	13.9%	28.3%	24.6%	34.2%	7.5%	8.0%
	60代	42	71.4%	33.3%	9.5%	54.8%	33.3%	14.3%	31.0%	16.7%	23.8%	7.1%	7.1%
	70代以上	16	81.3%	31.3%	25.0%	18.8%	18.8%	18.8%	31.3%	25.0%	25.0%	6.3%	18.8%
男性	計	185	63.8%	28.6%	15.7%	43.2%	31.4%	16.2%	33.5%	19.5%	38.9%	9.7%	7.0%
	10代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	10	20.0%	40.0%	20.0%	40.0%	20.0%	40.0%	50.0%	20.0%	50.0%	-	10.0%
	30代	31	71.0%	19.4%	12.9%	38.7%	32.3%	16.1%	32.3%	25.8%	41.9%	9.7%	12.9%
	40代	62	66.1%	24.2%	11.3%	46.8%	32.3%	11.3%	33.9%	19.4%	40.3%	11.3%	8.1%
	50代	55	60.0%	29.1%	14.5%	41.8%	30.9%	14.5%	38.2%	14.5%	30.9%	12.7%	3.6%
	60代	25	76.0%	48.0%	32.0%	40.0%	28.0%	20.0%	16.0%	20.0%	40.0%	4.0%	4.0%
	70代以上	2	50.0%	-	-	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	-	-

年代別では、「適切な相談先に関する情報提供」の回答は「60代」「70代以上」で7割を超え、他の年代より高くなっている。「メールや SNS 相談」は「50代」「60代」が、「テレワークできる場」は「20代」が他の年代より高くなっている。

[Q12] Q11で「⑪その他」と回答された方は、詳細をご記入ください。【自由回答】

- ・テレワーク中・休校中の保育や子育て支援に関すること 22件
- ・生活保障、財政的支援に関すること 14件
- ・コロナ感染対策に関すること 10件
- ・職場環境、テレワーク推進に関すること 9件
- ・就業・転職支援に関すること 9件
- ・妊娠・妊活に関すること 8件
- ・シングルマザー等への支援に関すること 6件
- ・固定的性別役割分担意識の解消に関すること 5件
- ・DV防止に関すること 3件
- ・男性への支援、意識改革に関すること 3件
- ・支援を女性に限定することへの批判 3件
- ・その他 16件

【ご意見】

[Q13] その他、ご意見等がありましたらご記入ください。【自由回答】

- ・感染への不安に関すること 44件
- ・職場環境、テレワーク推進に関すること 37件
- ・政治・経済・風潮に関すること 32件
- ・生活保障、財政的支援に関すること 22件
- ・子育て、保育に関すること 21件
- ・情報発信に関すること 14件
- ・相談事業に関すること 14件
- ・固定的性別役割分担意識の解消に関すること 13件
- ・大阪府政に関すること 11件
- ・シングルマザー等への支援に関すること 9件
- ・アンケートに対する批判 7件
- ・妊娠・妊活に関すること 6件
- ・その他 8件

自由回答で寄せられたご意見

【仕事、職場環境やテレワークについて】

- ・パート勤務にもテレワークを認めてほしい。（女性・30代・非正規）
- ・小規模な企業へのテレワークの推進、製造業への交代制勤務の推進をしてほしい。（女性・40代・正社員）
- ・通勤時間の削減や育児時間の確保のために、テレワークを推進してほしい。（女性・20代・正社員）
- ・リストラに遭わないか不安。（男性・40代・正社員）
- ・職業柄テレワークできず、子どもを保育園に預けざるを得なかった。毎日不安で精神的な負担が大きかった。（女性・30代・正社員）
- ・会社の経営環境が厳しくなり、先行きが不安である。（女性・40代・正社員）
- ・自営で接客業をしているが、感染者が増えているので休業するか悩んでいる。（女性・40代・自営業）
- ・職場が人員削減のため、勤務日が減っており、非正規のため先行きが不安。（女性・30代・非正規）
- ・会社で、仕事をセーブして家庭を優先すべきと言われた。コロナ禍や業績が低迷しているときなど、重要な仕事は男性に回される傾向があると思う。（女性・30代・正社員）
- ・仕事は増えたが、給料は上がらなかった。（男性・40代・正社員）

【感染への不安】

- ・基礎疾患を持っているため、感染への不安がとてつもなく大きい。（女性・40代・無職）
- ・子どもが感染して、高齢の親にうつさないか心配。（女性・50代・正社員）
- ・人により感染防止策に対する考え方に温度差が大きく、そのことに強いストレスを感じる。（女性・50代・正社員）
- ・学校や近所で、感染者の第一号には絶対になりたくない。（女性・40代・家事専業）
- ・「夜の街」ではしゃいでいる大人を見ると憤りと政府への不信感を覚える。（男性・30代・正社員）
- ・漠然とした不安や、いろいろなことへの気遣いで、思ったよりストレスを感じている。（女性・60代・正社員）
- ・高齢のため、自粛生活を送っているが、認知機能、身体、精神面での不調が心配。（女性・60代・非正規）

【幼稚園、保育園等の休園の影響】

- ・テレワーク中は保育所が子どもを預かってくれず、子どもを見ながらのテレワークは精神的にも本当にきつかった。（女性・30代・正社員）
- ・幼稚園の分散登園や毎日の検温など負担が大きい。（女性・30代・家事専業）
- ・保育園に子どもを預けられず、職場復帰ができない。（女性・30代・その他）
- ・テレワーク中に自宅保育協力を要請する場合、仕事の軽減などの配慮が必要。（女性・30代・正社員）
- ・保育園等に子どもを預けられない人のために、託児サービス付きテレワークの場が必要。（女性・40代・正社員）

【学校等の休校の影響】

- ・子どもの学習の遅れや進級、受験が心配。（女性・30代・家事専業）
- ・長期に渡る臨時休校で、子どもの生活リズムが乱れ、不登校気味になった。（女性・40代・正社員）
- ・子どもがオンライン授業のみとなり、いつまでこの状態が続くのか不安。（女性・40代・正社員）
- ・授業時間の短縮により学校が詰め込み教育になってしまっているのではと不安がある。（女性・50代・非正規）
- ・休校中に寂しがる子どもを置いて出勤しなければならないことが辛かった。（女性・40代・非正規）
- ・子どもの習い事もなく、家族でゆっくりと過ごす貴重な時間を持てた。（女性・30代・家事専業）
- ・子どもが自宅で過ごす時間が長くなり、近隣から騒音の苦情が来た。（女性・30代・その他）
- ・休校により子どもの感染リスクが減ったので、本当に良かった。（女性・30代・正社員）

【育児、子どもについて】

- ・うつされるかも、うつすかもと考え、保育所に預けることが不安。（女性・30代・正社員）
- ・子どもの遊び場がなく、親子ともストレスが溜まりやすくなっている。（女性・30代・家事専業）
- ・育児支援を受けられず、家にこもりきりなので、子どもの発達面への影響が心配。（女性・20代・正社員）
- ・遊びに行きたくても、感染が心配で子どもたちに我慢させている。（女性・30代・正社員）
- ・子どもの活動量が多く、感染しないか心配。（女性・50代・正社員）
- ・休日に子どもを連れて行く場所が無い。（女性・40代・正社員）

【家事負担の増加】

- ・女性はテレワークで、仕事、家事、育児をしなければならず、常に動いていなければならないので、更に周囲の理解が必要。（女性・20代・正社員）
- ・ステイホームで女性の家事負担が増えたのは男性の家事能力が低いため。女性への支援とともに、男性への支援も必要。（女性・30代・正社員）
- ・コロナの中、家事負担が女性に偏った。災害時や危機的状況に備えて、平常時から男女共同参画の視点を持つことが必要。（女性・40代・正社員）
- ・コロナ禍で、家事やケア役割を担う女性、ひとり親家庭などの問題が深刻化した。必要などころへの社会的支援を最優先で行う必要がある。（女性・70代・無職）
- ・女性は、家族全員の状況を見て、手を差し伸べる必要があるため、家族の在宅が増えると負荷がかかる。（女性・40代・非正規）

【夫婦・家族の関係】

- ・自粛をしない夫にイライラする。（女性・30代・正社員）
- ・夫が在宅勤務するようになり、口論することが増え、今までになかったほど関係が悪化した。（女性・50代・非正規）
- ・感染リスクを家族に説明しても、理解してもらえず、徒労に感じている。（女性・40代・正社員）
- ・子どもから精神的なストレスをぶつけられると辛い。（女性・30代・家事専業）
- ・夫婦でゆっくりと過ごす時間を持つことができ、人生のステップアップにつながった。（女性・50代・非正規）

【妊活・妊娠・出産について】

- ・感染リスクを避けるため、妊活を延期するか悩んでいる。（女性・20代・家事専業）
- ・出産を控えているが、面会や立ち合いなしのため、不安。（女性・30代・非正規）
- ・積極的に妊活・不妊治療ができず、焦る気持ちだけが募る。（女性・30代・非正規）
- ・妊娠中に感染した場合の重症化リスクについて、情報がなく、不安。（女性・30代・非正規）
- ・妊産婦の感染対策や出勤停止措置、給与保障などの生活保障が急務。（男性・30代・正社員）

【高齢の家族、介護について】

- ・施設に入所中の親が、長期に渡る面会中止により、認知機能、気力、体力が急速に低下した。（女性・70代以上・無職）
- ・遠方に住む両親の介護をどうしていくか悩んでいる。（女性・40代・家事専業）
- ・親の介護のため、休職を申し出たが、認められず退職することになった。（女性・50代・非正規）
- ・高齢両親に会いに行く機会が減ってしまった。（女性・40代・家事専業）
- ・移動制限のため、離れて住む両親の健康や介護に不安がある。（男性・50代・正社員）
- ・同居する高齢家族の世話の負担が増え、気分転換もできずストレスが溜まっている。（女性・50代・非正規）

【経済面での不安】

- ・非正規の立場だと、仕事を減らされても、何も言えず、職がないから転職もできない。金銭や生活の支援が必要。（女性・50代・非正規）
- ・経済面の不安が大きく、体調にも影響している。（女性・50代・非正規）
- ・目に見える形での経済的支援が一番ありがたい。（女性・40代・自営業）
- ・健康面に不安があり働けない。一人暮らしの身で何の支援も受けられない。（女性・40代・非正規）
- ・収入が減り、子どもの学費を払えるか心配。（女性・40代・正社員）
- ・仕事をかけもちしてやっと生活している。最低賃金で働いており、副業なしでは生活できない。（女性・30代・非正規）
- ・ひとり親家庭で賞与もカットされた。子どもを育てるのに経済的に苦しい。（女性・40代・正社員）

【シングルマザー等への支援】

- ・シングルマザーへの生活支援、経済的支援と相談の強化が必要。（男性・50代・正社員）
- ・コロナ禍で、ひとり親家庭への経済的支援はもちろんだが、買い物などの生活支援も必要。（女性・40代・正社員）
- ・ひとり親家庭の母親が自立できる職場環境が少なすぎる。（女性・50代・非正規）
- ・ひとり親家庭の母親が感染すると、生活面でたちまち困る。経済的支援だけでなく、寄り添い方の支援が必要。（50代・女性・正社員）

【情報発信のあり方】

- ・SNS などによる誤った情報の拡散や差別などを注視する必要がある。行政からの情報発信をもっと積極的にしてほしい。（女性・70代・無職）
- ・オンラインでのセミナーや相談は、家庭での利用が難しいのではないか。（女性・50代・正社員）
- ・ネットもできず、コロナで人との交流もできない高齢単身者が孤立しないような情報提供が必要。（女性・50代・非正規）

- ・情報が多すぎて、そのことが余計に不安をあおっていると感じる。（女性・60代・無職）
- ・政府・行政の情報発信が分かりづらく、様々な手続きに関しても仕様の変更が多い。（男性・50代・正社員）

【相談支援のあり方】

- ・SNS相談の先に、電話・対面での相談体制があった方が良い。（女性・50代・正社員）
- ・オンラインより実際に顔を見て相談したほうが安心出来る。高齢者に寄り添った支援を考えてほしい。（女性・70代・家事専業）
- ・電話相談があっても、家族が家にいるため、相談できない。（女性・40代・非正規）
- ・女性に対する悩み相談があっても、男性が家事、育児等の負担をしない限り、問題解決にはならない。（女性・30代・正社員）
- ・話を聞いてもらえるだけでなく、具体的な解決方法を示してくれる相談窓口が欲しい。（女性・30代・正社員）

【男女共同参画について】

- ・「家事、育児は女性の仕事」という無意識の思い込みを払拭する必要がある。（女性・30代・正社員）
- ・女性は嫁・母・妻、そして稼ぎ手として多くの役割を求められている。コロナ禍でさらに家族の精神的ケアの役割も加わり負担が増えた。男性側の自覚が求められる。（女性・70代・非正規）
- ・女性は仕事では不利な立場に立たされることが多い一方、家事、育児などの負担は男性より大きくなりがちのため、より実質的な支援が必要。（男性・50代・正社員）

【政治・経済・社会の風潮】

- ・在宅勤務の妨げになるから、子どもを外に出しているのだろうが、このような状況下で非常識だ。（女性・40代・家事専業）
- ・コロナ禍で、外で遊ばず、遊べば文句を言われ、子どもが一番可哀そうだ。（女性・40代・正社員）
- ・自治体の支援は子育て世帯に手厚いが、独身の会社勤めには補償が少ない。（女性・30代・正社員）
- ・ウイルスの影響の長期化が予想されるので、「自粛」から「感染対策をしながら元の生活を取り戻す」ことへシフトするべき。（無回答・20代・学生）
- ・何かを制限するなら、それに必要な対策も立ててほしい。（女性・40代・正社員）
- ・都心部での感染拡大を地方活性化の契機ととらえてはどうか。（男性・40代・正社員）
- ・これから何年先まで不景気が続くのか、また就職氷河期がくるのか不安がある。（女性・20代・無職）

「新型コロナウイルス禍が女性に及ぼす影響について」緊急アンケート 調査項目

□に☑（チェック）を入れてください。Q10、Q12、Q13については適宜ご記入ください。

Q1 年代

- ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代～

Q2 性別（自認する性でお答えください）

- ①女性 ②男性 ③無回答

Q3 家族形態

- ① 1人暮らし
② 本人と親
③ 配偶者（パートナー）と2人
④ 配偶者（パートナー）と子ども（末子が小学生以下）
⑤ 配偶者（パートナー）と子ども（末子が中学生以上）
⑥ 母親（本人）と子ども（末子が小学生以下）
⑦ 母親（本人）と子ども（末子が中学生以上）
⑧ 父親（本人）と子ども（末子が小学生以下）
⑨ 父親（本人）と子ども（末子が中学生以上）
⑩ 三世帯世帯（親と子と孫）
⑪ その他

Q4 職業（新型コロナウイルスの影響で仕事を辞めた方は、辞める前の職業）

- ① 勤め人（正規社員・職員）
② 勤め人（臨時・パート・アルバイト等非正規社員・職員）
③ 自営業主または家族従業員
④ 家事専業
⑤ 学生
⑥ 無職（家事専業を除く）
⑦ その他

Q5 Q4で「①、②、③」のいずれかに回答された方のみお答えください。コロナ禍前と

現在とを比較し、新型コロナウイルスの影響により働き方に変化はありましたか。【複数回答可】

- ① 就業日数が増えた
② 就業日数が減った
③ 1日の就業時間が増えた
④ 1日の就業時間が減った
⑤ 在宅勤務（テレワーク）が増えた（出勤との併用含む）
⑥ 時差出勤になった（増えた）
⑦ 仕事を辞めた（自己都合）
⑧ 仕事を辞めた（解雇、雇い止め、倒産等）
⑨ 特に変化はない
⑩ その他

Q6 Q4で「①、②、③」のいずれかに回答された方のみお答えください。

コロナ禍前と現在とを比較し、収入に影響はありましたか。

- ① 収入が増えた
- ② 収入が減った
- ③ 収入がなくなった
- ④ 変わらない
- ⑤ その他

Q7 緊急事態宣言が出ている間（4月7日～5月21日）、コロナ禍前に比べ、あなたの生活や行動、心身に変化がありましたか。【複数回答可】

- ① 家事の負担が増えた
- ② 家事の負担が減った
- ③ 仕事や勉強に集中できなくなった（不安があった）
- ④ 仕事や勉強に集中できた
- ⑤ 子どもを叱ることが増えた
- ⑥ 子どもを叱ることが減った
- ⑦ 配偶者（パートナー）との関係が悪くなった
- ⑧ 配偶者（パートナー）との関係が良くなった
- ⑨ 人との交流機会が減った
- ⑩ 生活に対する不安を抱えていた
- ⑪ 感染への不安を抱えていた
- ⑫ 特に変化はなかった
- ⑬ その他

Q8 現在、新型コロナウイルスの影響で、コロナ禍前に比べ、あなたの生活や行動、心身に変化はありますか。【複数回答可】

- ① 家事の負担が増えている
- ② 家事の負担が減っている
- ③ 仕事や勉強に集中できなくなっている（不安がある）
- ④ 仕事や勉強に集中できている
- ⑤ 子どもを叱ることが増えている
- ⑥ 子どもを叱ることが減っている
- ⑦ 配偶者（パートナー）との関係が悪くなっている
- ⑧ 配偶者（パートナー）との関係が良くなっている
- ⑨ 人との交流機会が減っている
- ⑩ 生活に対する不安を抱えている
- ⑪ 感染への不安を抱えている
- ⑫ 特に変化はない
- ⑬ その他

Q9 今、困っていることは何ですか。【複数回答可】

- ① 自分の仕事や生き方
- ② 配偶者（パートナー）との関係
- ③ 家族（配偶者・パートナーを除く）との関係
- ④ 家族以外との人間関係
- ⑤ 暴力被害・性暴力被害
- ⑥ 自分自身や世帯（家族）の経済面
- ⑦ 自分自身や家族の健康面
- ⑧ 特にない
- ⑨ その他（Q10に詳細をご記入ください）

Q10 Q9で「⑨その他」と回答された方は、詳細をご記入ください

Q11 コロナ禍の中、女性に対する支援としてどのような施策が必要と思われますか。【複数回答可】

- ① 仕事や生活、家庭等に不安がある際の適切な相談先に関する情報提供
- ② 電話による相談
- ③ 面接による相談
- ④ メールやSNS等を活用した相談
- ⑤ オンライン面接（ビデオ通話）による相談
- ⑥ 同じ悩みを持つ人同士が対面で交流できる場の提供
- ⑦ 同じ悩みを持つ人同士がオンライン上で交流できる場の提供
- ⑧ オンライン配信によるセミナー
- ⑨ テレワークできる場の提供
- ⑩ 特になし
- ⑪ その他（Q12に詳細をご記入ください）

Q12 Q11で「⑪その他」と回答された方は、詳細をご記入ください

Q13 その他、ご意見等がありましたらご記入ください。